

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1番 3月16日	15番 漆島政人議員	1 国が予定している「地域消費喚起・生活支援型」交付金の活用策について	<p>4億円分の商品券を発行し、それに「地域消費喚起・生活支援型」交付金を活用して8,000万円をプレミアム分(20%)に充てる計画である。</p> <p>(1) 市内に所在する店舗等の総数に対し、商品券を取り扱う店舗数は。</p> <p>(2) 購入できる上限額は。また、交通弱者まで購入しやすい体制にあるのか。</p> <p>(3) 商品券の多くは大型量販店で消費される可能性が高い。経済効果の見込額とその根拠は。</p>	市長  市長  市長
		2 同じく「地方創生先行型」交付金の活用策について	<p>「地方創生先行型」交付金(6,300万円)事業の中には、下記の事業計画がある。これら事業は今後の日置市創生事業に継続されることから、施策の効果検証する上で将来見通しや財政効果等を明確にしておく必要がある。</p> <p>(1) オリーブの6次産業化への取り組みは、採算性の高い品種の選定や挿し木による安価な苗木の確保策が先にあるべきと認識するが。また、採算性に合う収穫量と、その収穫できる時期は何年後か。</p> <p>(2) 生ごみの堆肥化事業は、全世帯での取り組みが前提にあると認識するが、住民理解が得られる見通しは。また、財政効果の見込み数値は。</p> <p>(3) 合宿誘致事業の継続を図る上で、旅行者も含め個室希望ニーズに応えた受け皿整備や白砂青松を活かした散策道やジョギングコースの整備充実が必要と認識するが見解は。</p>	市長  市長  市長
		3 地方版総合戦略の策定について	<p>国は、人口減少対策や地域活性化など地方創生に関する総合戦略の策定(5カ年)を各自治体に求め、事業内容に応じて支援するための交付金制度を設けた。</p> <p>(1) 人口減少対策や地域活性化への具体策案は。</p> <p>(2) 中心部の人口は増え周辺部の人口減は著しい。バランス調整策は。</p> <p>(3) 日置市の特性を生かした創生策は、人口減対策、地域活性化の両面で、一次産業と観光産業の振興策が有効と認識するが、この分野への今後の具体的な取り組み方針は。</p> <p>(4) 責任を持って実効性の高い創生事業を推進していくためには専属の担当課設置の必要性を感じるが。</p>	市長  市長  市長  市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2番 3月16日	9番 上園哲生 議員	1 定住人口増促進政策をより 実効性あらしめるために	<p>日本全体の人口減時代の中で本市も例外なく人口減状況が続いている。そうした中で、他の自治体から本市に移転定住してもらうには、単に定住促進の補助制度をより細やかにして実施するだけでなく、他の政策との複合的な視点が大事であると考ええる。</p> <p>(1) これまでの定住補助制度の実施で見えてきた課題、それを踏まえた今回の期待可能性をどの様に捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 若い世代に定住してもらうには今年度からの新しい子ども、子育て支援政策を他の自治体と同様ではインパクトが弱いと考えるが本市独自の魅力ある事業をどの様に考えるか。</p> <p>(3) 何を言っても、本市の良さ、潜在的な魅力あるものを掘り起こし、PRしていくことが肝要であると考えますが、市長はどの様に考え取り組んでいかれるか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
3番 3月16日	17番 田畑純二 議員	市政最高レベルの方針を引き出す質問として	1 本市の魅力と信頼性向上について	(1) 本市の魅力と信頼性を高めるために、どんな政策をどう実行し、その成果、効果はどうか。	市長
				(2) 市長は都市農村交流の取組についてどのように考え、日頃の行政でどうしているか。	市長
				(3) 職員のモラルを高める自治体組織をどのように考え、どう実践しているか。	市長
				(4) 本市財政への住民不信の払拭に本市ではどう挑んでいるか。	市長
				(5) 実効性のある自治体のコンプライアンス体制をどのように構築し、運用しているか。	市長
			2 本市の安全・安心の確保について	(1) 市長は自治体の地域安全のための対策をどのように考え、日頃の行政の中でどうしているか。	市長
				(2) 本市での高齢者の孤独死対策は、どんなものがあり、どう役立っているか具体的に示せ。	市長
				(3) 子どもを事故や犯罪から守るまちづくりをどのように考え、どう対処しているか。	市長
				(4) 高齢者の交通事故防止対策をどう考え、どのように対応し、その効果はどうか。	市長
				(5) 行政と防犯ボランティア団体との相互連携をどのように考え、どのように対応し、成果はどうか。	市長
			3. 地方創生と第二次日置市総合計画について	(1) 2015年度に定める地方版総合戦略と本市の第二次総合計画をどのように結びつけて、本市の地方創生をどう図るか。	市長
				(2) 本市の第一次総合計画をどう総括、反省、評価し、第二次総合計画にどう生かしていくのか、具体的に示せ。	市長
	(3) 本市の第一次総合計画の地域別振興方向の4地域別達成度に差はなさそうか、実態を知らせ。	市長			
	(4) 第二次日置市行政改革大綱の進捗度の検証は。	市長			

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4番 3月16日	19番 長野瑳や子 議員	1 歴史を生かしたまちづくりの 取り組みについて	<p>近年の歴史ブームの中、島津中興の祖とされる日新公や義久・義弘など4兄弟が生まれ育った伊作城跡や鶴丸城跡、一字治城跡などは、歴史面でも貴重な遺跡であり、観光振興や健康づくりに寄与する更なる保全・活用が望まれている状況にあるが</p> <p>(1) 伊作城跡の消滅している里道の復元や遊歩道新設などの整備促進を図るべきではないか。</p> <p>(2) 島津3代の大河ドラマ誘致の取り組みを積極的に図るべきではないか。</p> <p>(3) テレビドラマや映画ロケを誘致することに特化した観光振興プロジェクト設置の検討をすべきではないか。</p> <p>(4) 伊作城全域の県指定、更には国指定へ志向する、その後の取り組み状況はどうか。</p> <p>(5) 郷土教育の副読本等を活用して、児童生徒の愛着心の育成につなぐ「ひおきっ子」郷土検定の取り組みの考えはどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p> <p>教育長</p>
		2 行政評価の取り組みについて	<p>(1) 行政評価システムの進捗状況と今後の活用についての所見を伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番 3月17日	21番 成田 浩 議員	1 住環境整備について	(1) 地域振興計画の中でも検討されているライフラインの有事の時の確保などは、少子高齢化の中で万全の対策がなされているのか。	市長
			(2) その中でも、迂回路のない集落道などの整備が急を要すると思うが、各地域から要望も出ていると考えるがどうなっているのか。	市長
		2 行政の組織の再編について	(1) 日吉支所、吹上支所など建て替えもあり住民サービスの向上が期待されるが、今後の見通しはどうか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6番 3月17日	3番 留盛浩一郎 議員	1 日置市民、特に高齢者世帯に対する防火、防犯対策について	(1) 昨年の火災及び救急の出動状況(件数、その原因、年代別内訳)、防火水槽の状況はどうか、過去の推移と併せて伺う。	市長
			(2) 住宅用火災報知器の設置率や普及に関する取り組み状況と今後の課題はなにか。	市長
			(3) 消防署員や消防団員が、民生委員と一緒にあって一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等に防火、防犯の啓発訪問を行ってはどうか。	市長
			(4) 防火水槽の不備な所では、民間の企業と散水車等の協力をいただくために協定を結んだらどうか。	市長
			(5) 市民の防犯にも役立つと思うが、公用車にドライブレコーダーと交差点に防犯カメラを設置できないか。	市長
		2 子どもたちの食育について	(1) 子どもたちの残食率の状況はどうか。過去の推移と併せて伺う。	教育長
			(2) 「おひさま給食」を1月21日に行っているが、その経緯と結果がどうだったのか。今後の課題は何か。	教育長
			(3) 子どもたちが自分で作った弁当を持って登校し、皆で会食する「弁当の日」が広がっているが本市の学校でも取り組む考えはないか。	教育長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7番 3月17日	7番 山口初美 議員	1 政府の「農協改革」について	(1) 「農協改革」が本市に与える影響についての見解を伺う。	市長
			(2) 「農協改革」について市民からはどのような声が寄せられているか。	市長
			(3) 自給率の向上や米価下落の対策、価格補償や所得補償などで、国や自治体が、農協とも力を合わせて、農業を支えることが、今、求められているのではないか。	市長
		2 脱原発について	(1) 本市と九州電力が結んだ安全協定では、もし何かあった時の対策が不十分ではないか。	市長
			(2) 九州電力に対し、再稼働に不安を感じている市民に向けた住民説明会を開き、説明責任を果たすよう申し入れる考えはないか。	市長
		3 子育て支援の充実について	(1) 乳児紙おむつ購入費助成事業を実施できないか。	市長
			(2) 出生祝金、誕生日祝金、入学祝金などの祝金を検討してはどうか。	市長
			(3) 入学準備資金貸付制度を新設する考えはないか。就学援助制度では間に合わないので、認定後に相殺すればよいと考えるがどうか。	市長 教育長
		4 高すぎる国保税の引き下げについて	(1) 納税相談の状況や滞納の現状はどうか。	市長
			(2) 本市の国保は住民の命を守る制度になっているか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8番 3月17日	11番 坂口洋之 議員	1 日置市の今後の介護保険事業計画について	(1) 第6期介護保険事業計画の目的と高齢者実態調査のアンケート結果の状況をどう分析しているのか。	市長
			(2) 27年度以降の要支援1・2の地域支援事業へ移行に向けての本市の考え方を伺う。	市長
			(3) 第6期介護保険事業計画による介護報酬の引き下げの施設運営の本市の影響と介護従事者の処遇改善の見通しについてどう考えるのか。	市長
			(4) 介護予防における介護保険課、福祉課、社会福祉協議会、地区公民館の役割についてどのように考えてよいのか。	市長
			(5) 10月に予定されている介護保険サミットの準備の状況と具体的な内容についての考え方はどうか。	市長
		2 戦後70年 日置市の平和行政と戦争を風化させない取り組みについて	(1) 26年度における平和に関する本市の事業はどのようなものがあり、どう評価しているのか。	市長 教育長
			(2) 戦後70年の節目の年である。戦争に関する遺跡・体験記・写真・イラスト等を幅広く募集し、市民に周知すべきと考えるがいかがか。	市長 教育長
		3 病児保育の設置に向けての本市の考え方について	(1) 病後児保育の26年度の利用状況はどうか。	市長
			(2) 病児保育の設置に向けて本市も検討するとの議会答弁があったがその後の状況はどうか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9番 3月18日	18番 池満 渉 議員	1 法定外公共物(里道)について	(1) 現在の維持管理等の状況はどうか。	市長
			(2) 管理状況や境界等について、市民からの苦情やトラブルはないか。	市長
			(3) 法定外公共物に関する「条例・きまり」等の周知を徹底すべきだが。	市長
		2 市民の数少ない参政機会である投票率向上について	(1) 年代別の有権者数と、その投票率の推移を示せ。	選挙管理委員会委員長
			(2) 投票に行かない理由等を把握しているか。投票率向上の取り組みを示せ。	選挙管理委員会委員長
			(3) 市民から「投票所やその他」について苦情等はないか。	選挙管理委員会委員長



# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
11番 3月18日	5番 黒田澄子 議員	1 日置市オリーブ政策の今後を問う。	(1) 「オリーブのまち 日置市」構想における今後のスケジュールはどうなっていくか。	市長
			(2) オリーブ苗木の購入方法・植栽の指導等・実の買取りと価格はどうか。	市長
			(3) オリーブ搾油・商品化・オリーブオイルを使用したレストラン等の構想を研究会、市はどのような役割を果たしていくか。	市長
			(4) 農業経験のない市民には対応するのか。	市長
			(5) 市外の人で本市内に土地を有する希望者への対応はどうか。	市長
		2 本市の給食指導の現況を問う。	(1) 学校での給食指導の目的、ねらい、成果を問う。	教育長
			(2) 各学校の給食指導職員対象の市の研修会の内容と課題を問う。	教育長
			(3) 食育との連携で今後の給食指導の展望とおひさま給食の経緯と成果を問う。	教育長
			(4) 残食量を各学校はどのように捉え、教育委員会はどのような指導を行っているか。	教育長
			(5) 残食を減らすことへの教育的意義について、教育長の見解を問う。	教育長
			(6) 給食で地元のお茶を出せないかと提案するがどうか。	教育長
		3 戦後70年を迎えるにあたり、日置市の平和継承について問う。	これまでも非核平和政策について質問、提案してきた。戦争を語る市民がそう多くはいない現状を捉え質問する。	
			(1) 戦後70年を迎えるにあたり市長の見解を問う。	市長
			(2) 戦後70年目の8月15日、本市における取り組みは何か。	市長
			(3) 戦後70年目の8月6日、9日の原爆投下時刻のサイレン等の取り組みはどうか。	市長
(4) 戦後70年目の本年、市は子どもたちに平和の継承をどのように行っていく考えか。	教育長			
(5) 平和の合唱・演劇・絵画や書など市民を巻き込んでの平和継承を行わないか。	市長 教育長			

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
12番 3月18日	6番 下御領昭博 議員	1 空き家対策について	「空き家等対策の推進に関する特別措置法案」が平成26年11月に可決成立したことを踏まえ、本市の空き家問題について伺う。		
			(1) 市全体で空き家数はどの程度か。	市長	
			(2) 空き家を有効活用し、地域振興につなげ、促進を図るべきと思うかどうか。	市長	
			(3) 空き家に対する市民からの相談・苦情等はなかったか。	市長	
			(4) 空き家対策の円滑な対応のため、総合窓口の設置は考えられないか。	市長	
			(5) 空き家に対する固定資産税の見直しは、考えられないか。		
			ア 管理されていない空き家の固定資産税の特例を廃止すべきと思うかどうか。	市長	
			イ 空き家を解体して更地にした場合、固定資産税の特例を延長するべきと考えるかどうか。	市長	
			2 再生可能なエネルギーについて	(1) 太陽光発電や風力発電等の設置で、地域にどのような波及効果があり、本市にもメリットがあるのか。	市長
			3 農業用の用排水路(準用河川)について	(1) 荒廃地での用排水路の維持管理の状況はどうか。	市長